

高野山ツアー 案

- ★ 高野山ツアー 26pm 8月26日(日) 午後1時 このの玄関前出発
2時 無量光院(拝観料300円) → 2時40分 蓮華上院(拝観料300円)
→ 3時40分中門に移動 壇上伽藍(智泉廟、東塔、西行桜、愛染堂、西塔等)見学

時間に合わせて下山、お急ぎの方は高野山ケーブル駅まで送迎後、ゆの里へ

- ★ 高野山ツアー 27 8月27日(月) 朝8時半 このの玄関前出発
10時 奥の院到着 → 11時半まで散策 → 中本名玉堂で昼食(精進料理1,500円)
→ 12時半から高野山大学 → 2時 金剛峯寺(拝観料500円) → 4時半 解散



ツアー紹介

世界遺産にもなった高野山の、スピリチュアルなメッセージを持った場所がたくさん存在します。今回訪れる無量光院は、高野山の多くの宿坊のなかで、奥の深いメッセージを持った場所とも言えます。

835年に入定した、空海聖人が、大師号を賜るのが921年と86年もの隔たりがあります。その部分に関係した仕事を果たしたのが観賢正僧、です。観賢正僧（かんげん、斉衡元年（854年）-延長3年6月11日（925年7月4日）は、平安時代中期の真言宗の僧で俗姓は秦氏とも伴氏ともされ、出自については不詳で讃岐国の出身。般若寺僧正とも称されています。

貞観14年（872年）真雅について出家・受戒し、聖宝より三論・真言密教の教学を学んで、寛平7年（895年）に灌頂を受け、昌泰3年（900年）に仁和寺別当となり、その後は弘福寺別当・権律師・東寺長者・醍醐寺座主・金剛峯寺検校を歴任し、延長元年（923年）には権僧正に任じられました。この間、般若寺を創建し、また奏請して空海聖人に弘法大師の号を賜ったほか、高野山に宝亀院を建立するなどし、空海が唐から請来した「三十帖冊子」を東寺の経蔵に納めて以後代々の真言宗長者の相承とするなど、東寺を中心として真言宗の再編を行っています。

無量光院とも深い、縁のある方で、その他、戦国時代の上杉謙信、織田信長、浅野内匠頭で有名な浅野家、幕末で有名な有栖川家、紀州出身でカミソリ外交と言われた、陸奥宗光とも縁の深いお寺でもあります。

歴史は時の権力者が作り上げたもので本当の歴史を知る1つのきっかけになるようなマニアクでスピリチュアルな場所を訪ねる内容で企画しています。

